

河川整備補助事業費

1 事業概要

令和2年7月豪雨においては、最上川やその支川で多くの浸水被害が発生したことから、同規模の洪水等に対する浸水被害の解消を図るため、治水対策を推進する。

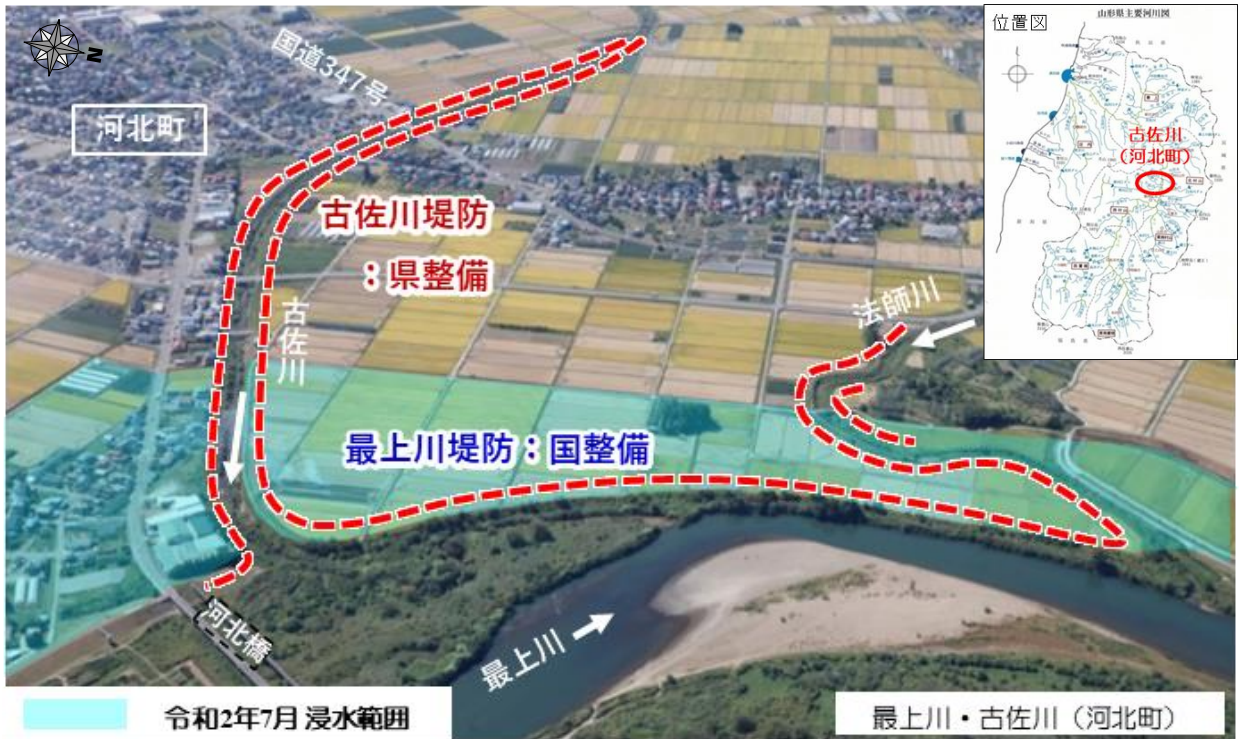
2 事業内容

令和4年度の事業実施箇所：古佐川 外31河川

○代表箇所 一級河川最上川水系古佐川（河北町谷地外地内）

最上川のバックウォーターに対する浸水被害の解消のため、国土交通省、河北町とも連携し、築堤整備、河道掘削等の治水対策を行う。

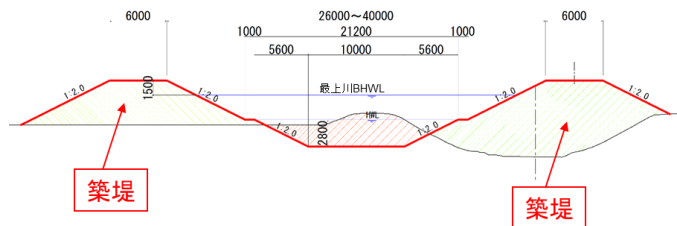
（令和4年度実施内容：設計、用地測量 等）



（写真提供：山形河川国道事務所）



河北町押切地区浸水状況（R2.7豪雨）



計画横断面図

河川流下能力向上・持続化対策事業費

1 事業概要

氾濫の可能性が特に高い箇所について、堆積土砂及び支障木の撤去を行うことで河川の流下能力を向上させ、県民の安全・安心の確保を図る。あわせて、将来の堆積土砂撤去等の負担軽減のため、再堆積抑制のための流路保全対策（床止め）を行うことで、流下能力確保の持続化を図る。

2 事業内容

①河川流下能力向上対策

堆積土砂及び支障木の撤去を行うことで河川流下能力を確保し、浸水被害の軽減を図る。

②流路保全対策（床止め）

流下能力向上対策とあわせ、上流からの土砂流出による再堆積を抑制するため、床止めの設置などを行う。

3 令和4年度実施内容

L＝約80km

①河川流下能力向上対策

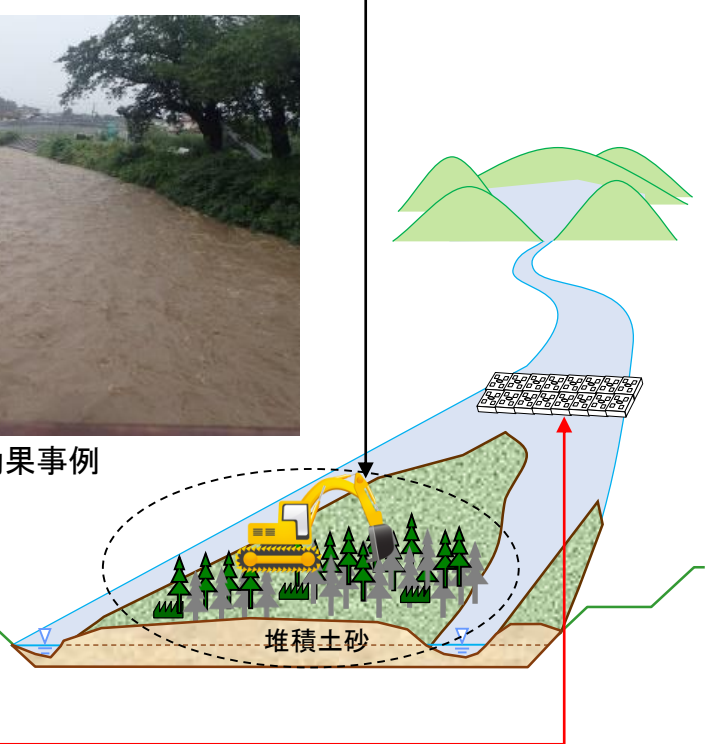
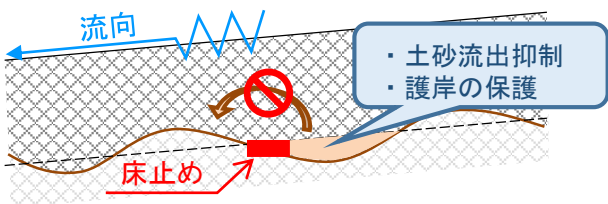
- ・河川の流下能力を確保するための堆積土砂の浚渫、支障木の伐採



▲①河川流下能力向上対策の効果事例

②流路保全対策（床止め）

- ・床止めによる下流部への土砂流出抑制
- ・護岸等の施設基礎部の保護



流路保全対策



▲②流路保全対策（床止め）の対策後イメージ

地域防災力強化型土砂災害対策事業費

1 事業概要

気候変動により全国的に頻発・激甚化する土砂災害に対し、ひとたび被害を受けると地域の防災活動や経済活動に多大な影響を及ぼす恐れのある箇所について、令和2年度から令和6年度にかけて集中的に土砂災害対策を実施し、地域の防災力強化を図るものである。

[事業要件]

次の全ての要件に該当すること

- ・土砂災害の恐れのある区域に人家20戸以上が存在すること
- ・重要な保全対象（①要配慮者利用施設、②避難所、③重要交通網）を2項目以上含むこと

2 令和4年度事業内容

土砂災害対策を図るための設計及び工事を実施する。

事業実施箇所：11箇所

主な保全対象：人家416戸（保全人口約1,200人）、要配慮者利用施設*11施設、指定避難所8施設、重要交通網5箇所

※高齢者及び乳幼児等の災害時における避難行動において特に配慮を要する方が利用する施設

